

令和 5 年度 厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)
総括研究報告書

薬局における口腔の健康維持・増進を推進する薬剤師対象教育プログラムの開発
および地域住民を対象とした口腔の健康サポート事業の有用性評価

研究代表者 山浦 克典

慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門教授

研究要旨

口腔の健康問題は多くの全身疾患の原因となり、またそれ自体が健康寿命に影響を与えることが報告されているが、国民の歯科受診率は伸び悩んでいる。健康サポート薬局は地域住民の健康サポートを具体的かつ積極的に行う機能を有しており、地域住民の“口腔”の健康サポートを行う上でも、最適な医療提供施設である。しかし、我々の先行研究では、口腔の健康維持・増進に関する薬局薬剤師の知識と自信度が不足していた。そこで本研究では、薬局薬剤師に対する口腔の健康サポートに特化した研修プログラムを構築する。さらに、当該研修を修了した薬剤師が口腔の健康サポートを行うことで、地域住民の歯科受診率、口腔の健康状態、さらに医療費に対する効果を検討する。本年度は研修プログラムを構築し、前半グループの薬剤師に対して実施すると共に、医療費に対する効果を検討するための基盤となる歯科医療費に関する文献レビュー、薬剤師の意識調査の論文文化を行った。

<研究分担者>

浜田 将太	一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部
岩田 紘樹	慶應義塾大学薬学部 医療薬学・社会連携センター 社会薬学部門専任講師
岡崎 光洋	秋田大学大学院 医学系研究科 遠隔医療推進開発研究センター 特任研究員

<研究協力者>

林 直子	慶應義塾大学薬学部附属薬局 専任薬剤師
五島 朋幸	ふれあい歯科ごとう代表、日本歯科大学生命歯学部・臨床准教授

志賀 保夫	ビジネス・ブレイクスルー大学大学院教授、株式会社アイスタット 代表取締役社長
松井 洸	株式会社ツルハホールディングス・学術・DI 担当
白石 愛	熊本リハビリテーション病院 歯科衛生士
田口怜奈	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構・研究員
間井田成美	慶應義塾大学薬学部 社会薬学部門 博士課程
亀井美和子	日本薬剤師会・常務理事
佐野 敦彦	日本保険薬局協会・医療制度検討委員会委員

A. 研究目的

研究代表者はこれまでの調査研究により、日本の薬局薬剤師は諸外国と比べて、地域住民の口腔関連トラブルに対応することに自信が持てていないことを報告してきた¹⁾。さらに、患者、歯科医師に対する調査研究により、薬局薬剤師が口腔の健康に参画するニーズを明らかにしてきた^{2),3)}。これより、口腔の健康サポートは薬局薬剤師の取り組むべき最重要事項の一つと考えられる。

一方で、2015年に策定された患者のための薬局ビジョンにおいて、健康サポート薬局が定義され、その機能として、地域住民の健康サポートを積極的かつ具体的に実施することとされており、口腔の健康サポートもこの中に含まれるべきと考える。しかしながら、これまで薬学教育モデル・コア・カリキュラムには口腔領域は含まれておらず、薬剤師が業務において口腔ケアに参画することはほとんど無かった。そのため、2022年日本口腔ケア学会も、「薬剤師教育における口腔ケア領域の充実および、臨床の現場における薬剤師の口腔ケアへの参画が重要」とする大阪宣言を発出した⁴⁾。現在のところ、健康サポート薬局が行う口腔の健康サポート事業の有用性に関する研究報告は存在しない。そこで本研究では、健康サポート薬局の薬剤師による口腔の健康サポートイベントによる、地域住民の歯科受診率、口腔の健康状態、さらに医療費に対する効果を検討する。

本研究は2年計画であり、本年度は薬局薬剤師による口腔の健康サポートの医療費・歯科医療費への影響を推計するにあたっての基盤となる情報を得るために文献レビューを行う（分担研究：歯科領域の医療費・歯科医療費に関する文献レビュー）。また、これまでに行った薬局薬剤師対象の口腔ケアに対する認識調査の成果は、本研究の重要な知見となるため、その英語論文文化を行う（分担研究：口腔ケアに対する薬局薬剤師の認識に関する先行調査の論文文化）。さらに、次年度に行う健康サポート薬局に勤務する健康サポート薬局研修修了薬剤師（以下、健サポ薬剤師）による地域

住民に対する口腔の健康サポートの有用性に関する無作為化比較試験に向けて、健サポ薬剤師の口腔の健康に関する知識、スキルの向上のための研修プログラムを構築する（代表研究：健康サポート薬局に勤務する健康サポート薬局研修修了薬剤師に対する口腔の健康に関する研修プログラムの構築と実施）。

B. 研究方法

1. 歯科領域の医療費・歯科医療費に関する文献レビュー

分担研究報告書（別添4）のとおり。

2. 口腔ケアに対する薬局薬剤師の認識に関する先行調査の論文文化

分担研究報告書（別添4）のとおり。

3. 健康サポート薬局に勤務する健康サポート薬局研修修了薬剤師に対する口腔の健康に関する研修プログラムの構築と実施

3-1. 研修プログラムの構築

分担研究報告書（別添4）のとおり。

C. 研究成果

1. 歯科領域の医療費・歯科医療費に関する文献レビュー

分担研究報告書（別添4）のとおり。

2. 口腔ケアに対する薬局薬剤師の認識に関する先行調査の論文文化

分担研究報告書（別添4）のとおり。

3. 健康サポート薬局に勤務する健康サポート薬局研修修了薬剤師に対する口腔の健康に関する研修プログラムの構築と実施

分担研究報告書（別添4）のとおり。

D. 考察

今年度は2年計画の1年目であり、口腔の健康

サポートが歯科医療費に与える影響を考えるための基盤として、歯科医療費に関する文献レビューを行った。また、薬局薬剤師の口腔ケアに対する意識を調査した英語論文を作成することで、現在の薬局薬剤師の口腔の健康サポートにおける課題を明確にした。更に、健サポ薬剤師の現状を把握し、口腔ケア関連の知識不足を自覚していること、薬剤師による口腔の健康サポートの推進には教育・研修の仕組み作りが有用であることを明らかにした。その上で健サポ薬剤師に対して研修を行い、その有用性を評価した。

今回の結果を踏まえ、来年度は残りの半数の健サポ薬剤師に向けて研修を行い、研修の評価をまとめることで研修プログラムの改善作業を完了させると共に、健サポ薬剤師の介入の有用性を無作為化比較試験にて検証し、その結果から歯科医療費に与える影響を推計する。また、その際に使用したパンフレットを元に、薬局薬剤師が使いやすいパンフレットを作成し、全国の健康サポート薬局で口腔の健康サポートが行えるような基礎を構築する。

E. 結論

本研究で健康サポート薬局に勤務する健サポ薬剤師に対して研修を行うことで、薬局薬剤師のスキルが上がり、その薬剤師の地域住民の口腔の健康に関する介入が有用か否かを次年度行う介入研究で検証する。医療費に与える影響は長期的な評価が必要であるが、まずは半年というスパンで介入の効果を検証していく。その有用性が明確になれば、薬剤師が、歯科医師と連携して地域住民の健康寿命の延伸に寄与するエビデンスになると考える。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

林 直子. 厚生労働科学研究～地域住民の口腔内に対する薬局薬剤師の健康サポート(中間報告)～, 第 26 回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会春季大会(東京), 2024 年 2 月, シンポジウム講演

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

I. 引用文献

1. 吉田倫太郎, 岩田紘樹, 小林典子, 藤本和子, 林直子, 山浦克典. 薬局薬剤師による地域住民の口腔の健康維持・増進の取り組みに関する現状及び推進に向けた課題の検討. 日本社会薬学会第 39 年会, 2021
2. 岩田 紘樹, 藤枝 千尋, 岡崎 光洋, 五島 朋幸, 藤巻 弘太郎, 小林 典子, 藤本 和子, 山浦 克典. 薬局における口腔乾燥の実態調査と症状改善に関する情報提供の有用性. 第 1 回日本老年薬学会学術大会, 2017
3. Hiroki Iwata, Keisuke Nakamura, Noriko Kobayashi, Kazuko Fujimoto, Naoko Hayashi, Katsunori Yamaura. Most dentists approve of oral health check-ups for local residents at community pharmacies and desire collaboration with community pharmacists. Drug Discov Ther., 16(6) 309-312, 2022
4. 夏目長門: 歯科・口腔外科疾患 最近の動向.

In: 今日の治療指針 2023 年版 (福井次矢,
高木 誠, 小室一成編), 医学書院 (東京),
2023, pp1608-1611.